

2020年12月度幹事会報告

日時：11月24日(火) 10:00~12:40

参加者20名、欠席者1名

I. 会長挨拶 新型コロナウイルス感染拡大中、幹事会で十分検討を。人の和・創造・実践を。

II. 会計、総務部より

1. 会員動向 168名変化なし

2. 会計報告 収入、支出の説明あり

III. 活動・行事関係に関わる課題・懸案事項

1. 3ヵ月スケジュール

・1/7 初出式 七草粥のみとする。

10年継続会員記念植樹(富有柿)を行う

・2/7 新春ならやま研修会

・2/20 椎茸菌打ちイベント(予備日2/21)

2. ならやまプロジェクト関係

・12/17の里山林の樹木現況調査はできる限り幹事全員参加とする。里山Gは資料を用意

・佐保自然の森竹林整備 12/3 協働活動

・展望広場工事、年内に枕木敷設。

・草刈りの安全講習会 年明けに実施する。

・新春ならやま研修会 2/7 講師は黒田先生
午前中に先生を里山に案内する。

IV 企画、助成関係事業案件

1. 記念モニュメント

関係のできた大学生から提案を受けた。20周年記念として制作検討中。ならやまにある自然素材で。場所は緑陰広場の一角に。

2. 樹木図録の表紙絵を会員家族からも募集。

3. 助成金確認メモ資料説明あり

・植樹について全体計画を調整し年度内に実施。

・主な残件、展望広場工事と竹林整備に注力。

V 喫緊・提案事項

・コロナ対応は県と市のガイドラインを基本として判断することとし、当面は活動を継続する。会員は自己責任による慎重な判断を。緊急時には三役またはならやまプロジェクト委員会メンバーで検討する。

以上

次回1月度幹事会は12月22日(火)



<新しい思い出作りに向かって>

新しい年が始まったばかりだが、「蛍の光」の歌について書いてみたい。

日本では、年の終わりや卒業式に流れる曲だが、原曲はスコットランド民謡の「Auld Lang Syne」で、皆さんよく知っているだろう。

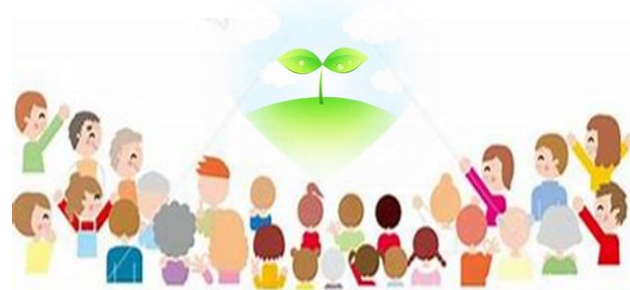
英語の詩は少し複雑な意味を含んでいるらしい。日本のように別れの時に歌われるだけではない。「昔に遊んだり、行動を共にした人たちの事は忘れはしない。また懐かしい思い出を語りながら、一緒に過ごしたい。新しい物語を作りたい」という意味あいも含んだ詩なのだ。

2020年は、多くの人が会えず、話せない年だった。そのせいで、いつもはあまり思いだすこともなかった人たちにも会いたい、話したいと感じた方はたくさんいたのではないかな。

「奈良・人と自然の会」も年月を重ねて20周年となる新たな年2021年を迎える。

いろいろな活動・行事・改革に関わった多くの人々のことを思い起こしながら、新しい年に繋げていきたいと思う。

(コロナウィルスのはことは忘れない。 勝手子)



発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

表紙写真：

丑もいろいろ。力合わせて今年も楽しく！

12000歳の力が合わさることでもっと楽しい活動ができますように。(作品提供：鈴木末一)